環境建設常任委員会 平成30年12月14日 環境部廃棄物対策課 議案第138号 資料2

事業計画書概要版(議会説明用・公表情報)

団体名	環境をサポートする株式会社きらめき
	【施設の経営理念】
施設運営の基本方針	「スマートウェルネスシティにいがた」の実現 環境啓発を通して地域コミュニティ活動にも貢献します
	【管理運営の基本方針】
	●安全・安心・快適な利用環境を提供します
	●平等利用の確保。ユニバーサルサービスを継続実施します
	●インターネット等を利用した広報を行います
	●地域の教育機関や自治会、団体との相互連携を深めます
と史無理を中語の動機	現在、当社は同施設の指定管理者として8年目を迎えましたが、現状の課題解決及び経営理念の具現化に向け、また貢献でき
指定管理者申請の動機	ることがあるのではないかと考え、上記の基本方針のもと次期指定管理公募の申請に至りました
施設管理に関する業務	●プロパティマネージャー制の導入、施設管理長の選任(ともに非常勤)
	●施設の長寿命化に向けた予防保全計画の立案、実施
	●ビル管理士による日常点検
	●再委託先の品質評価(年1回)
施設運営に関する業務	●同施設関連条例に基づき利用申請内容の確認、精査による公平、平等を確保した正確な利用許可業務
	●サービス向上に向けた取り組み
	・サービス顧問によるスキルアップ計画 ・マニュアルの整備 ・個別の施設見学対応
	●利便性向上に向けた取り組み
	・見やすく分かりやすい看板の増設・バリアフリー意識による身近な改善活動
	・自販機収入による無料wi-fiの設置
	●その他
	・意見集約のための取り組み・・・アンケート、問い合わせフォーム、品質向上委員会、第三者評価委員会
	・苦情処理・・・原則、即日対応・・・本社専門部署及び指定管理者事業課にて管理、指導
	・コンプライアンス、個人情報保護への取組
	・安全管理・・・24時間体制管制センター、定期巡回の強化、防災備蓄、マニュアルの整備、SNS連絡体制、県外業者
	とのBC協定締結、年2回の避難訓練、AED講習の実施
	・地域との連携・・・消耗品の地元購入、地元雇用最優先、地域コミュニティに参加、官民連携
啓発業務に関する業務	●リサイクル展示提供事業
	「新潟市資源再生センター展示提供事業に関する要綱」及び「取扱い品目及び不適品目リスト」を順守
	●リサイクル講座等の開催
	・職員の多能化。新たな連携先の開拓 ・食品ロス問題を考える取り組み
	・フリーマーケット時のサービス向上 ・夏休み工作教室の拡大 ・環境フェスティバルの開催
	・図書、DVDの拡充
	●メディア広報
	・メディア露出の業績評価 ・ターゲットを絞った効果的広報媒体の選択
	●中間層をターゲットにした取り組み
	・スマホ利用を前提としたWEB媒体の拡充・サイチョくんのお友達計画・キャラクターショー開催
	・YouTube動画配信 ・アプリの作成 ・ARポスターでスタンプラリー
	・デジタルエコマンガの定期配信 ・環境紙芝居の定期上演 ・年3回の情報紙発刊
	●リサイクル品の分与
	・新田清掃センター、鎧潟クリーンセンター分与品と同施設展示品の明確な区分け
	●自主事業
	・「潟マルシェ」との連携出張講座 ・25周年祭の開催 ・エコープラザ環境セミナーの開催
支出計画	人件費 12,873千円(単年度) 期間計 64,365千円
	啓発事業費 8,263千円(単年度) 期間計 41,315千円
	管理費 5,619千円 (単年度) 期間計 28,095千円
組織・人員体制	●統括施設長(非常勤)制の導入
	・新潟市資源再生センター、亀田市民会館、亀田駅前地域交流センター、新潟市芸術創造村・国際青少年センター、石宮公園
	地下自転車駐車場を統括
	・館長(常駐)・・・指定管理者施設長経験者本社係長
	・副館長(常駐)・・・サービスリーダー、広報企画、館長代行
	・受付パート職員3名、清掃パート1名
	・工房修理、回収業務はシルバー人材センターに委託
	●男女共同参画、セクハラ、パワハラ、ライフワークバランスへの取組
	・本社総務人事部及び指定管理者事業部にて適切に対応
	●研修
	THE A OFFICE THE A PHE

・年間12種類の研修を実施